

## 第18回「市長と語るタウンミーティング」を開催しました

1 日 時 令和8年1月26日(月) 午後7時～

2 場 所 善通寺市民会館ホール

### 3 参加者

善通寺商工会議所 会頭 高畑 様

善通寺商工会議所青年部 会長 前原 様

善通寺市老人クラブ連合会会長 松本 様

NPO 法人子育てネットくすくす 理事長 草薙 様

四国学院大学 学生 高橋 様

計5名

### 4 会議の概要

【テーマ】住んでみたい 住みつづけたいまち 善通寺

1. 開会

2. 主催者挨拶

3. 参加者紹介

4. タウンミーティング

5. 閉会

### 5 いただいたご意見

【テーマ】① 善通寺に住みつづけることのメリット・デメリット	
発 言 者	ご 意 見
高畑 様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・善通寺市に住み続ける上でのデメリットとして、海に面していない点が挙げられる。香川県内の市のうち、善通寺市のみが海岸線を持たないため、臨海部を必要とする産業の立地には不利となり得る。その結果として、大規模企業の進出や雇用創出の面で条件が弱くなり、市内で働き続けたいという希望をかなえる上で課題となる場合がある。</li> <li>・一方、海に面していないことはメリットにもなる。津波など沿岸部特有の災害リスクが相対的に低く、香川県の中でも大規模災害のリスクが小さい地域として、安心して暮らしやすい点が利点である。</li> <li>・また、メリットとして交通利便性がある。高速道路のインターチェンジがあり、東西南北へつながる基幹道路網も整っている。これらを生かし、道路沿いの計画的な整備とあわせて、物流関連企業などの誘致を進めることは、雇用の確保につながり、住み続けやすさの向上に資する。</li> </ul>
前原 様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・善通寺商工会議所青年部のメンバーに「善通寺市に住み続けるメリット・デメリット」を聞き取った。</li> <li>・メリットとして、高速道路のインターチェンジがあり交通の便が良いこと、市役所や図書館など公共施設が新しく整っていること、災害が比較的少なく静かな環境で子育てしやすく、子育て支援も充実していることが挙げられた。</li> <li>・デメリットとして、大型商業施設が少ないこと、人や店が少ないと感じること、補助金・支援制度が少ないこと、バスや鉄道など公共交通が不便であることが挙げられた。また、県外から移住した場合に地域のつながりが強く、なじみにくさを感じることもあるという意見もあった。</li> <li>・メリットを強く感じない一方で、生活上の大きな不便も特に感じないという意見もあった。</li> <li>・来店客が少ないことから起業する人が増えにくく、青年部の会員数も減少傾向にある。</li> </ul>

発 言 者	ご 意 見
松本 様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メリットとして、善通寺市は気候や地盤の面でリスクが比較的少なく、自然災害が少ないという安心感がある。また、近隣のショッピングセンターへ移動しやすく、医療・福祉・教育が整っているため、子どもから高齢者まで世代を超えて安心して暮らせる環境がある。さらに、新交通システムの導入検討や電子投票など、他の市町に先行して新しい仕組みを試す意欲がある点が評価できる。</li> <li>・一方で、コンパクトなまちであるからこそ、行政サービスや地域の利便性を高めるために幅広い分野でデジタル化を進める必要がある。高齢者にも配慮したデジタル化を進めるとともに、行政の業務システムの効率化も進めてほしい。</li> </ul>
草薙 様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デメリットとして、善通寺市はコンパクトなまちで人口規模が小さく、人口が3万人を下回っている。少子化により子どもの数が年々減っている点が課題である。また、国の機関が多いことから転勤に伴う転入・転出が多く、地域とのつながりがつくりにくく孤立しやすい場合がある。</li> <li>・メリットとして、まちの規模が大きくない分、地域で顔の見える関係を築きやすい点が挙げられる。子育て支援を重点的に進めることで、子育て家庭が安心して暮らせるまちを目指せることも強みである。</li> </ul>
高橋 様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・別の地域から学生として善通寺市に住んで感じたメリットとして、まちが静かで落ち着いており、住みやすく過ごしやすいたことが挙げられる。また、地域の人があいさつをしてくれる場面が多く、気持ちよく暮らせる。加えて、雨が少なく水害のリスクが比較的低い点も良いところである。</li> <li>・デメリットとして、駅にエレベーターがないこと。車いす利用者や高齢者にとって利用の負担が大きく、エレベーター整備により利便性が向上するのではないか。さらに、娯楽施設や学生が授業の合間(空きコマ)に過ごせる場所が少ないと感じる。現状では図書館が主な滞在先となり、車内で過ごしたり一度帰宅したりする学生もいるため、気軽に立ち寄れる居場所となる施設が望まれる。</li> </ul>

【テーマ】② 『住みつづけたいまち』にするための提言

発 言 者	ご 意 見
高畑 様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「住みつづけたいまち」にするためには、長所を伸ばす、または短所を改善する取組が必要。</li> <li>・長所を伸ばす取組として、善通寺市には高速道路のインターチェンジがあり、交通・物流の面で優位性がある。国の道路整備の課題として、国道11号は善通寺市付近まで4車線化が進む一方、西側は2車線区間が残っている。4車線化をさらに進めることで物流機能が高まり、企業誘致の強みになるのではないかと。</li> <li>・短所の改善として、中心市街地の活性化が必要である。その際は、善通寺市の特色である歴史・文化・教育といった分野に重点を置き、集中的に取組を進めるべきである。</li> <li>・行政運営の方向性として、広域で実施できる業務は可能な限り近隣自治体等と連携して効率化し、そこで生まれた人員や予算などの経営資源を中心市街地活性化など重点施策に振り向けることが重要である。</li> <li>・まちをつかっていく主体は、市民の皆さん自身である。善通寺市が今後どのような形で働く場所をつかっていくのか、どのように産業を形成していくのかといった点について、小さなことでもよいので、アイデアがあれば商工会議所でも市役所でもよいから届けてほしい</li> </ul>
前原 様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商工会議所青年部内で「住みつづけたいまち」にするための提言を募ったところ、次のような意見が挙がったため紹介する。</li> <li>・観光面では、善通寺市には全国的に知られる寺院があることから、インバウンド(訪日外国人旅行者)の誘客に力を入れるべきであるとの意見があった。また、観光や移動が小さなエリアで完結するよう、回遊しやすい環境整備を求める声があった。</li> <li>・生活支援の面では、子育て世代向けサービスは手厚い一方で、特定の世代に偏らず、全世代の生活水準が下がらないようバランスの取れた行政サービスを展開してほしいとの意見があった。</li> <li>・定住・人材確保の面では、UI ターン希望者への家賃補助など、移住を後押しする支援策を求める声があった。あわせて、仕事の選択肢を増やすための雇用創出が必要であるとの意見が挙がった。</li> <li>・総括として、善通寺市で「生活したい」と思えるまちづくりには、働き続けられる地域経済の活性化が不可欠であり、まず雇用を生み出す取組を進めるべきである。</li> </ul>

発 言 者	ご 意 見
松本 様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老人クラブ(長寿会・福寿会)では、会員の高齢化、新規会員の減少、役員の担い手不足などの課題を抱えている。</li> <li>・「住みつづけたいまち」にするための提言として、高齢者の居場所づくりの観点から、公民館は非常に有用である。現在のような貸館(施設貸出)中心の運用にとどめず、地域づくりを支える拠点として、行政組織としての機能をより担ってほしい。</li> </ul>
草薙 様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住みつづけたいまちであるためには、地域の子育て支援の充実が不可欠であると考えます。残念ながら、国の支援やサービスは幼児期には比較的手厚い一方で、思春期に向かうにつれて活用できる支援やサービスが少なくなる傾向があり、支援の切れ目が課題である。</li> <li>・また、若い世代が住みたいと思えるまちとは、自分たちの困りごとを当事者が主体的に活動し、解決に向けて動ける環境が整っているまちであると考えます。困りごとは当事者にしか分からない面もあるため、行政任せにするのではなく、当事者が主体的に活動することが重要である。そのためには、当事者が主体的に活動できる場を設けること、さらに行政や大学等と連携し協働できる機会(コラボレーションの場)を整えることが必要である。これらの場や機会の整備により、子どもが成長しやすく、若い世代が住みやすいまちづくりが進むと考える。</li> <li>・住みやすいまちは行政だけで完結するものでも、市民だけで完結するものでもない。市民全体が課題を共有し、ともに考え、行動を起こすことによって、まちは変わっていくのである。</li> <li>・私は21年前から、中学生と乳幼児のふれあい活動体験を企画し実施している。当時中学生であった参加者が、現在は親となり、今度は自分の子連れて当該活動体験に意欲的に参加してくれている。このような主体的に何かを行う経験こそが、郷土に対する愛着を育てるきっかけや土壌となるのだと実感した。</li> </ul>
高橋 様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元の人が声を上げやすい環境を整えていくことが、暮らしやすいまちにつながると考える。市民が意見や困りごとを安心して表明でき、それが行政や地域の取組につながっていくようなまちにしてほしい。</li> </ul>

その他のご来場者のご意見として、以下の声がありました。

- ・公民館施設が充実すれば利用機会が増えるため、各公民館の改修を進めてほしい。
- ・善通寺の自然を守ってほしい。
- ・自動運転バスなどの導入を検討してほしい。
- ・近隣にスーパーがない地域があるため、公民館で週1回程度、朝市のような買い物の場を設けてほしい。